

就職者の声

株式会社ジェイアール西日本マルニックス 梅田支店勤務 **高橋 毅**さん

JR大阪駅構内外にあるセブンイレブン各店舗への商品配送に従事する高橋さん。C-STEPの人材スキルアップコース7月期(座学と企業見学会)、10月期(座学と職場実習)の受講を経て、ジェイアール西日本マルニックスに就職が決まりました。

●採用していただいて

2カ月ほど経ちますが、ようやく作業に慣れてきました。大阪駅での店舗配送なのですが、単純な作業ではなく、覚えなければいけないことが多くありますので、最初の頃は難しいと感じることもありました。ですが、先輩の方々に丁寧に教えていただき、優しい言葉をかけてくださり、徐々に慣れていきました。

●責任感とやりがい

配達の仕事で必要なことは、お客様を大切にすること、安全第一を常に心がけることだと思いました。一つ一つの商品を慎重に扱い、間違いのないよう確認を徹底し、正確にお届けして、お客様に喜んでいただくことが、私どもの仕事だと思います。



作業の様子

台車を使用しての配送は、駅構内の配達ということもあり、人通りが多く危険な作業となります。声を出し、周囲の人に自分の存在を気付けさせ、接触事故を無くす。荷崩れして通行者が怪我などしないよう結束を十分に徹底するなど事故が起こらないよう細心の注意を怠らないようにしなければなりません。責任のある仕事だと分かり、やりがいのある仕事だと感じる事ができました。

●良い職場で戦力として

まだまだ出来ていないことはたくさんありますが、頑張れる気持ちになります。ジェイアール西日本マルニックスは人を大切にしていると分かったからです。それは、日々の先輩や同僚との接触で心の温かさ、広さ、柔軟性があり、誰にでもとけ込みやすく、私のことを見てくれているのが伝わってきます。とてもやさしく明るい職場ですので働きやすい環境だと思います。皆様と作業していて、大変チームワークの良い会社だと分かります。互いに協力し合うことで効率よく仕事を終えることが出来るのですね。一人では出来ることは少ないですが、力を合わせれば多くのことが出来るのだと思いました。ですので、私も皆様と一緒に会社の戦力となれるように一生懸命頑張っていきます。

●人材スキルアップに参加して

C-STEPを通じて学んだことは人の心だと思います。最初はできなくても教えてくださる人がある。やってはいけないことは厳しく叱ってくださる。うまくできた時には、褒めてくださる。いろいろな人と出会い、教わり、興味を持ち、影響を受けながら成長することができる。自分の成長はうれしいことです。私は社会経験が少

株式会社ジェイアール西日本マルニックスは、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)と、そのグループ会社の物流部門を核とした総合物流サービス企業として、さまざまな事業を展開。今年で70周年を迎えます。

高橋本社総務部課長、乾梅田支店長兼OSC営業所長のご協力のもと、人材スキルアップ受講者の職場見学会や、障がいのある方、就職が困難であった方々の職場実習を受け入れていただき、3名が採用されました。

●高橋課長：弊社は多種多様な事業展開を行っております。各業務を進める中での共通問題の一つとして人材不足に悩まされてきました。そういった中、以前、障がい者雇用でお世話になったC-STEP様に相談させていただいたところ、人材スキルアップコースのお話をいただき、利用させていただきました。

今回、企業見学会ということで、JR大阪駅構内商品配送を受講者の皆様にご紹介させていただき、高橋さんの採用が実現しました。引き続き、人材スキルアップコースでの採用を積極的に取り組んでまいります。

●乾支店長：C-STEP様を通じて、弊社に就職を希望される方々に業務を体験してもらう期間を設け、実際に業務を体験していただき、本人が納得・判断してから採用するという形で、弊社で長く働いていただきたいという期待をこめて、高橋さんの他2名の計3名(内、障がい者1名)を採用させていただきました。

実習受入れ当初は不安もありましたが、始めてみると特に問題なく、意欲をもってがんばってくれています。C-STEP様には感謝するとともに、引き続きご協力をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ないので就職は怖いものだと思っていましたが、経験することで自信を持てるようになる。企業様のお話、見学、体験、ビジネスマナーなどのスキルアップ講座を経験させていただき、もう一度社会へ出る勇気が湧いてきました。働くこととはコミュニケーション、笑顔で元気に挨拶、報告、連絡、相談。思いやりの心、謙虚な気持ち。多くのことを学ばせていただき自信が持てました。働くことは楽しいこと、そして社会に貢献できる喜びが生まれてきます。恐れることは何もない、心のつながり、会社は人と人だと思えます。



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)
〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8
中央大通 FN ビル 14 階
tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033
URL(ホームページ)http://www.c-step.or.jp

第45号 C-STEP ニュース

人間を主役にした人材雇用開発



4月1日スタート!働き方改革関連法&改正入管難民法

一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 常務理事 **中谷 佳稔**

本年5月1日に元号が変わります。改元に先駆けて4月1日に新元号が発表されます。その日のニュースは新元号一色になることでしょう。その陰で雇用に関する重要な法律が改正施行されます。ご担当の方はぜひご一読ください。

■労働人口の減少

厚生労働省(雇用政策研究会)は、本年1月15日、2040年の労働力人口の推計資料を公表しました。2040年は日本の人口が約1億1000万人にまで減少し、3人に1人が65歳以上を占める社会です。現在40歳代に達している就職氷河期世代が高齢期を迎えるのもこの時期です。この推計資料によりますと、経済成長がゼロで推移し、女性や高齢者、障がい者など就職困難な方たちの労働市場への参加が進まない場合、2040年の就業者数は、5,245万人となり、2017年の6,530万人から1,285万人減少(仮に2%経済成長が続いたとしても506万人減少)すると試算しています。一方この報告書では、人手不足の深刻化は、企業の生産性の向上、労働者の労働条件の改善、公正な待遇の確保、雇用の質の向上の好機でもあるとも指摘しています。

■働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案(以下、「働き方改革関連法」)が本年4月から順次施行されます。

昨年6月29日、混乱の中ではありましたが「働き方改革関連法」が可決成立しました。そしてまもなく順次施行されます。詳細は紙面の都合上割愛しますが、改革案の柱は次の3つです。①働き方改革の総合的かつ継続的な推進、②長時間労働の是正と多様で柔軟な働き方の実現、③雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保。中でも経営者・人事担当者が対応すべきポイントは、長時間労働の是正(大企業2019年4月～中小企業2020年4月～)、有給休暇取得の義務化、勤務間インターバル制度、同一労働同一賃金(大企業2020年4月～中小企業2021年4月～)等々多岐にわたります。働き方改革が進めば、労働市場が流動化し、よりスキルの高い労働者の活躍の場が

促進される一方、長時間労働が常態化している業種や労働者間の賃金格差、処遇格差を放置している事業所は淘汰される可能性があります。短期的な改革ではなく、中長期的かつ、より広い観点から自らの労働環境を見つめ直すことが求められています。

■外国人労働者との共生社会をめざして

これまた混乱の中、12月8日未明に改正出入国管理及び難民認定法が可決成立しました。国内における雇用・労働条件に大きく影響を与えることは必至です。改正の肝は、新たな在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」を設け、政府が指定した14業種(これら業種を称して「単純労働」といった心ない記事を散見しますが、決して「単純労働」ではありません)を対象に5年間で最大34万5,150人の外国人労働者を受け入れようとするものです。新制度で外国人労働者を受け入れる業種には、介護業(6万人)、外食業(5.3万人)、建設業(4万人)、ビルクリーニング業(3.7万人)などC-STEP加盟企業が多数関わっています。すでに外国人労働者の受け入れに向けた準備を進めておられる企業もあることでしょう。ご担当される方は、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」(政府関係閣僚会議・12月25日公表)は必読です。生活支援策を中心に126項目に上ります。準備不足もあり、まだまだ十分とは言えませんが、基本的な考え方など参考にすべき項目は多岐にわたります。加えてお願いしたいことは、外国人労働者を受け入れるにあたっては、日本で働くすべての労働者と同等の権利を保障されることは言うまでもなく、外国人労働者に対する人権侵害をなくし、安心安全な共生社会の実現を図る不断の努力です。企業の将来を見据えた、発展的で持続可能な雇用環境を築いていきましょう。

C-STEP事業

「きしわだ障害者就職模擬面接会」開催レポート



模擬面接会の様子

昨年11月14日(水)岸和田市立波切ホールにて、「きしわだ障害者就職模擬面接会」(主催:岸和田市産業政策課、企画運営:C-STEP)が開催されました。本企画には、就労移行支援事業所を利用されている4名の方が参加されました。「模擬」面接ではありますが、まさに面接試験本番さながらであり、緊張感のある充実した内容となりました。模擬面接会は、参加者が、①自らの障がい特性を理解すること、②自らの長所短所を理解すること、③就労意識を高めること、④そして、面接にあたってのマナーや心構えを身につけることを目的としています。

【参加者の感想より】

- ・想定していなかった質問がいくつかあり、その際にどのように受け答えすれば良いか等アドバイスを頂けた。(30代・男性)
- ・自分では気付かない「良い点」「悪い点」を教えていただいた。「良い点」を聞き自信が付いた。(30代・女性)
- ・転職が多いので前向きな理由が必要だとわかった。(50代・男性)
- ・かなり緊張しましたが結果的にすごく良い経験になったと思います。(30代・男性)

「就活セミナー in 泉州北」へC-STEPも参加しました(報告)

NPO法人チャレンジド・ネットいづみ 泉州北障害者就業・生活支援センターからの依頼を受け、2018年11月30日(金)、障がいのある方を対象に、和泉市コミュニティセンターで開催された「就活セミナー in 泉州北～がんばるあなたを応援します～」に、C-STEPからも講師を派遣しました。

このセミナーは、同時進行で4つのセミナー(各30分、午前・午後 各2回)が実施され、参加者は好きな時間帯に好きなセミナーに参加できます。C-STEPは午前・午後の計4コマ、「仕事への挑戦!～就職するために必要な力とは～」と題し、就職に向けて知っておきたい・準備しておきたいことのお話や、ビジネスマナーでは、実際に発声や動きを加えて体験していただきました。

セミナー全体の参加者数は77名、のべ160名(複数セミナーに参加)。障がい特性の内訳は、精神42名、知的17名、身体4名、手帳なし8名、不明6名(保護者等の参加含む)。みなさん、就職に向けて各セミナーに積極的に参加し、真剣に取り組んでおられ、就職への意気込みを感じました。



セミナー「仕事への挑戦」の様子



セミナー「ビジネスマナー」の様子

【参加者の感想より】

- ・挨拶の仕方、声の出し方が分かった。
- ・人に対する接し方を学べた。
- ・自分の強み、出来ること、やりたいことの整理が明確にでき、長所がわかった。
- ・早く就労したい気持ちになった。
- ・就活に向けて、具体的なプロセスが分かって良かった。
- ・プログラムでやってみたい内容が多く、勉強になった。
- ・勤務に対する希望条件が多くあるが、優先順位を付けることで、整理でき、まとめることが出来そうである。
- ・良い内容だったので、30分間があっという間で、もっと長くても良かった。

C-STEPでは、各市町村、就労移行支援事業所、各種団体からの依頼を受けて、就労相談会や模擬面接会など研修の企画運営、講師派遣等の事業も実施しています。お気軽にご相談ください。

2018年度雇用問題研究会を開催しました。

2019年1月29日(火)14:00から大阪市立東成区民センターで2018年度雇用問題研究会を開催し、企業、行政、関係団体など合わせて約180名にご参加いただきました。

2018年度雇用問題研究会「SDGsと企業～誰もが活躍できる未来にするために～」

第1部

基調講演 「SDGsと人権～企業としてどう取り組むか～」

講師 松岡秀紀さん(一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター 特任研究員)



第1部 基調講演

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)のなりたちと基本理念をはじめ、SDGsと企業及び人権とのかかわりや、ビジネスと人権について、企業としてどう取り組んでいくかなどについてご講演いただきました。



第2部

取り組み事例報告など

①企業からの取り組み事例報告

大和ハウス工業株式会社 CSR部人権啓発室 室長 大山健吾さん

事例①「ダイワハウス・ソーシャル・インクルージョン・プログラム」について

人権啓発研修に地域共生活動を組み合わせ、ダイワハウス・ソーシャル・インクルージョン・プログラムを通じてSDGsの目標「働きがいも経済成長も」や「住み続けられるまちづくりを」へ貢献

事例②「家事シェアハウス」について

家事を分け合う「家事シェアハウス」の全国展開を推進し、SDGsの目標「ジェンダー平等を実現しよう」や「住み続けられるまちづくりを」へ貢献などの取り組み事例についてお話いただきました。



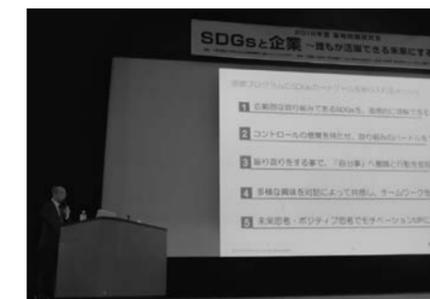
第2部① 企業からの取り組み報告

②取り組みを推進するために～ゲームを通じてSDGsを学ぶ～

特定非営利活動法人イー・ビーイング 井上明子さん

2030SDGsゲームファシリテーター 杉田博幸さん

特定非営利活動法人イー・ビーイングで取り組んでいる環境問題やSDGsの推進活動についてお話いただいた後、カードゲームを活用したSDGsの推進手法や研修に取り入れた効果などについてご紹介いただきました。



第2部② 取り組みを推進するために

第1部、第2部を通じてSDGsについて理解を深め、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、企業はどのように取り組んでいくかを考える場になりました。大変参考になるお話をしていただいた講師のみなさま、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

2019年度 C-STEP通常総会 開催のお知らせ

日時	2019年6月19日(水) 14:00～16:00
場所	ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)7階ホール
内容	第12期 評価・顕彰 感謝状贈呈式 2018年度事業報告・2019年度事業計画提案など